

地縁法人田中自治会活動紹介

田中地区の団地は昭和55年（40年前）有志一同にてスタート、コミュニティの中心となる集会所は昭和57年に落成式を行いました。

田中自治会は栄町始まって以来の260世帯の団地となり、町からも大変期待され子供会員数90名の大所帯で立ち上がった地区で、自治会も試行錯誤の上色々な事に取り組んで参りました。

子供会員数も今では20名くらいに減ってはいるものの40年の歴史とともに子供達も成長して今では良いお父さんお母さんに成長し夏祭り、餅つき大会には子供を連れて帰省参加している姿を見ると微笑ましい気持ちになります。今それぞれの居住地できっと栄町での幼い時の事を胸に思い乍ら過ごしている事でしょう。

最近特に少子、高齢化による会員世帯数の減少状況を食い止める方法として魅力的な自治会にするために恒例の夏祭り納涼大会、冬の盛大な餅つき大会、子供会行事等のサポーター（高齢化に伴い役員だけでは人数的、体力的に自治会活動は無理と思い、4年前からお願いしています。）の充実を図り頑張っている次第です。

田中自治会では1年中行事に追われ忙しくしておりますが、この度の新型コロナウイルス感染症防止の為、主な自治会活動は中止になっておりますので、今まで力を注げなかった問題もこの機会に役員一同、「田中これからの会」の皆様と一緒に進める事と致しました。

『地縁法人田中自治会』の懸念される課題と克服の取組み

「自治会員高齢化の進行と自治会員の減少」「少子化による子供会活性化の低迷」が、自治会運営上先行き大きな課題となる時期が、必ずやってくるのは明かです。ついでに、如何に活力ある自治会を継続させて行くのか、将来を見据えた施策の策定が急務となります。

1. 懸念される課題

(1) 会員の高齢化 (2) 会員の減少 (3) 役員の辞退 (4) 会費の減少 (5) 預貯金の減少

2. 課題克服の取組み

2.1『田中これからの会』発足による課題克服施策の検討

課題克服施策を役員会で検討するのは無理があり、専門委員会を発足させて検討するべきと、会員有志の方々から提案がなされ、令和2年3月の第40回総会で承認され活動を開始しました。委員は班1名以上で公募し、11名【男性7名、女性4名】と会長・副会長で構成しています。この会に決定権は無く、課題を討論し内容によって役員会及び総会に意見として提出し、賛否を問う方式として6月から活動を開始しています。

(1) 会員の年齢調査

高齢化が進行しているのは誰も感覚的に分かっていますが、実際の年齢構成は全く分かっていません。課題検討の前に実態を明らかにして取組む必要があり、役員会に提案して承認を受けた後、自治会が会員に抵抗無く協力して頂けるよう、10歳代単位での調査を実施致しました。調査結果は、添付の「田中自治会年齢調査報告書」を参照して下さい。

(2) 会員の減少状況調査

会員数は、総会議案書に記載されているのみであり、時系列的に把握出来ていませんでした。そこで分かる範囲で調査しました。会員数は、平成23年3月の228世帯から令和2年3月では179世帯となっています。9年間で49世帯(5.4世帯/年)の減少、特に直近3年間は26世帯(8.7世帯/年)と減少傾向が、顕著となっています。高齢化及び自治会離れが加速すると、今後更なる会員の減少が予測されるのは明かです。

【現在の全世帯戸数254戸に対し、会員世帯戸数179戸の会員比率は70.5%】

(3) 会費の減少に伴う預貯金の取崩し増加

自治会活性化の大きな目玉として自治会発足以来毎年実施しています、①夏祭り納涼大会 ②年末の餅つき大会 ③敬老の日記念品配布 ④ふれあい会(敬老会)後援費支給 ⑤子供会後援費支給 があります。

自治会員の減少に伴い会費収入は減少していますが、地域コミュニケーションの充実と魅力向上による組織の活性化を図るために継続実施しており、会員の評価は非常に高いです。

そのため、一般会計赤字が継続しており、補填に預貯金の取崩しをして凌いでいる状況です。今後一段と高齢化が進む見込みであり、会費の減少と預貯金の取崩しは増加の一途を辿ると予測され、限りある預貯金の活用方法について検討する必要があります。

今後共、1回/月『田中これからの会』を開催し、克服施策を検討してまいります。

2.2自治会としての取組み

(1) 役員の辞退

自治会に入会すると理事・班長や行事等の手伝いをせねばならず負担であり、役員をやりたくないという理由で、入会しない又は退会するといった方がほとんどです。

役員の行事の負担を軽減するため、4年前から一般会員による『イベントサポーター制度』を発足し、「自主防災サポーター」を含め40名のサポーターが役員の負担軽減を図っています。

(2) 自治会未加入者への加入の促進

自治会に未加入の方、加入していたが退会された方に対して、「自治会加入のお勧め(お願い)」の文書を作成したので、会長及び副会長が対象世帯を訪問し加入のお願いを促進していきます。

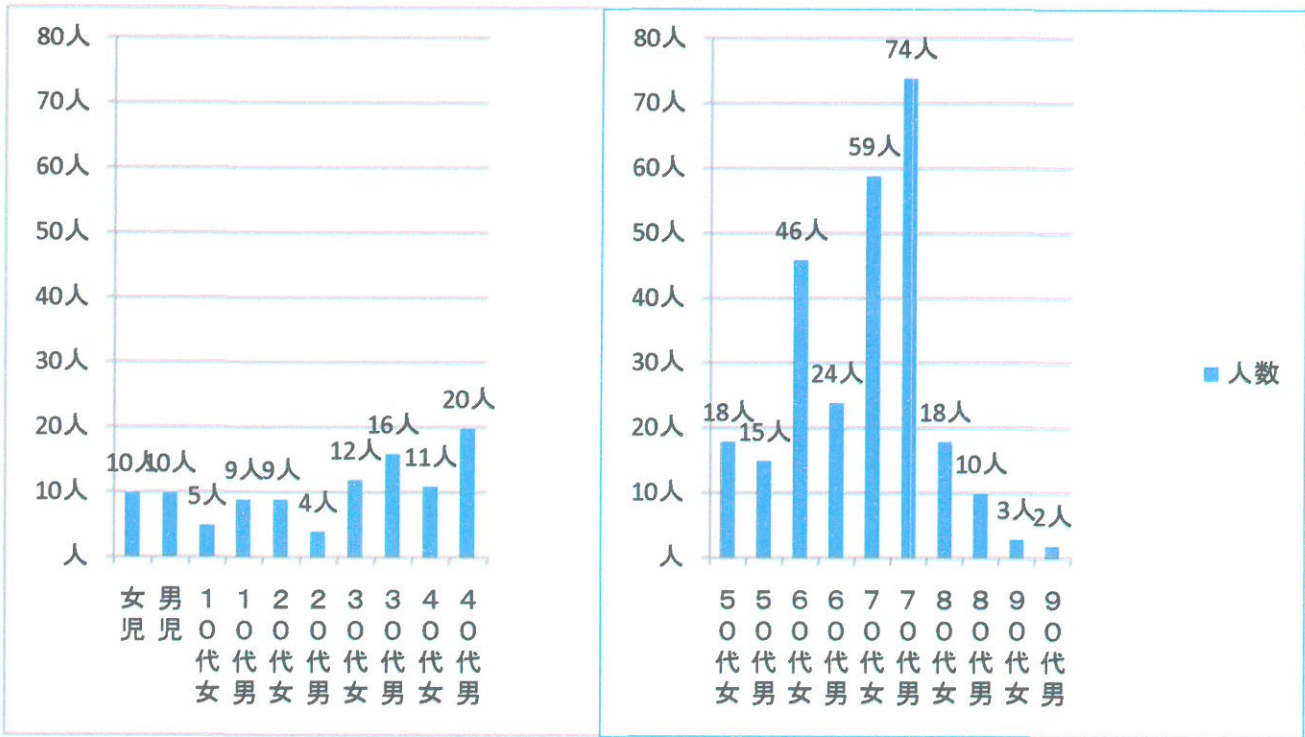
田中自治会年齢調査報告書

令和2年6月23日
自治会長 石井美智子
田中これからの会

年令	女児	男児	10代女	10代男	20代女	20代男	30代女	30代男	40代女	40代男	小計
人数	10	10	5	9	9	4	12	16	11	20	106
%	2、7	2、7	1、3	2、4	2、4	1、1	3、2	4、3	2、9	5、3	28、3

年令	50代女	50代男	60代女	60代男	70代女	70代男	80代女	80代男	90代女	90代男	小計	合計
人数	18	15	46	24	59	74	18	10	3	2	269	375
%	4、8	4、0	12、3	6、4	15、7	19、2	4、3	2、7	0、8	0、5	70、7	99

※パーセント値は4捨5入の為99%になっています※



35年前の自治会は、30代、40代、50代が中心で活気がありました。それでも他県から越してきた人たちの中には、いままでに充分自治会の活動はしてきたので静かに暮したいという意見もありました。それでも自治会が若かったこともあり夏祭り、餅つき大会、栄町の運動会(当時)と諸々の行事を楽しんできました。しかし、ここ数年上のグラフの通り60代、70代、80代が中心になり催しや各行事が役員にとって負担になってきました、そのため役員はじめ自治会員の負担を少しでも軽くなるように表記に書かれている通り『イベントサポーター』『田中これからの会』を発足し役員はじめ自治会員を補助し自治会が楽しくスムーズに運営されるようにしたいと思っています。